

ゆざわまち

あなたと議会を結ぶ架け橋

議会だより

平成30年
第128号

平成
29年 12月議会

2月4日発行



謹んで
お慶びを申し上げます
新春の

雪国館主催 協本陣にて「池田家コンサート」
南雲充司さん

12月定例会 平成29年12月19日～27日
町長の所信表明に対する代表質問 3名



町長の所信表明に対する

代表質問
(抜粋)

12月21日

町長二期目の就任にあたり所信表明が述べられました。湯沢町議会では分野ごとに常任委員会で課題や疑問を話し合い、町長に質問をしました。所信表明は、広報ゆざわ（12月24日発行）をご覧ください

総務文教常任委員会

質問者 師田 保

質問 「この度、2期目を迎えるにあたり、一部修正はしましたが、公約の「開花八策」とあるが、改正版の開花八策はあるのか、その改正版は示さないのか伺う。

また、「中央省庁との人事交流」「政策専門担当」「民間からの諮問委員会」などはどうなったのか伺う。

答弁 一部修正をした内容は議会にも説明してきたが、骨太の部分は変っていない。修正するが、改訂版は考えていない。

人事交流は役場体制を考え検討したい。政策専門担当は企業誘致アドバイザー・広報戦略アドバイザーを設置した。諮問委員会は検討する。

質問 「保育時間延長、休日保育および学童保育の拡充」とある



認定こども園 ジャンプラネットふれあい広場

が、0歳1歳児の保育についてはどのように考えているのか。
また「引き続き、子育て世帯の負担を軽減する対策」は、どのようなことを考えているのか伺う。

答弁 利用ニーズに対応し待機児童が発生しないようにしていきたい。また濃密な親子関係になるように働きかけていきたい。子育て世代の負担軽減サービスの拡充を、今後も機能させていくことが重要だと考える。

質問 「空き家の所有者や高齢や跡継ぎ不在を理由に「事業の廃業」を考えている方と、新規利用希望者とのマッチングを行うシステムを構築する」とは、リストアップ、登録、照会まで行う考えなのか伺う。

答弁 先進地事例を参考にしていきたい。

質問 「情報伝達システムの多様化」とはどのような事を考えているのか。また消防団の部単位に、さらなる無線の配布は考えていないのか伺う。

答弁 今後は緊急告知ラジオの全戸配布を考えている。

消防団の無線追加配備については、南魚沼市消防団の状況を見て判断していきたい。

質問 「健全財政を維持しつつ町民サービスを下下させないためには、将来を見据えた財政計画を基

に」とあるが、財政計画を今後作成する考えなのか伺う。

答弁 10年間の財政計画を策定したいと考えている。

生活福祉常任委員会

質問者 関 忠夫

質問 「年齢や性別、障がいの有無や国籍にかかわらず、このまちに暮らす誰もが、心豊かに幸せを実感できるまちづくりを進める」とあるが、今回の所信表明の中で福祉については3ページに記載があるのみである。福祉関係の政策に対する取組が少ないように思えるが如何か。

答弁 元氣な高齢者が生きがいを持って活動できるように支援を考えていくために「地域包括ケアシステム」を構築し、必要なものは拡充していく。

質問 「365日・24時間診療体制を整える湯沢病院」については、診療報酬の改定に伴い、今後の体制を検討していく必要があると思うが、これからの医療と介護の方向性について、どのように考えているのか伺う。

答弁 魚沼圏域での町立湯沢病院の役割を果たしていく必要がある



町立湯沢病院

る。町民の健康を支える掛かり付け医として、今後も医療・福祉・介護を一体として機能を堅持していく。

質問 病院の人件費が高くなってきたが、どこを基準に人件費を合わせているのか。

答弁 調べた上で分かり次第報告する。

質問 「地域包括ケアシステム」は、どのような仕組みを想定しているのか。具体的な構想があれば聞かせてほしい。

答弁 住民参加型、在宅福祉サービスを提供するボランティア組織の活動を普及、啓発をしていきシルバー人材センターを活用した生活援助など、新たな訪問サービスを検討している。

産業建設常任委員会

質問者 白井孝雄

質問 「再生エネルギー利用者への助成を充実させ、若者の定住や起業の促進を図ってまいります。」とは、助成を充実することによって、どのように若者の定住や起業の促進をするのか伺う。

答弁 空家のマッチングをし、今ある再生可能補助金等の活用を見直しを考えている。

質問 雪国観光圏事業支援に取り組んできたところがあるが、今後はどう



のように支援し、DMOにはどのようにには対応していくのか伺う。

答弁 具体的な支援内容は変わらないうが、今後は市町村観光協会の役割と観光圏の役割を整理し支援していく。

質問 「労働力確保のための取り組み」とは、どのようなことを考えているのか伺う。

答弁 外国人労働者の受け入れなどを商工会、観光協会と連携して考えていきたい。

質問 「東京オリンピック・パラリンピック観戦者およびインバウンドの誘致活動の強化を図り」とあるが、東京オリンピック開催が迫ってきている状況の中、具体的にはどのように観戦者などを誘致する考えなのか伺う。

答弁 都内周辺は早く満室になると予想するので、ワイドパスで新幹線を使った情報発信をSNSを使い発信し、WiFiの整備もしていきたい。

質問 「今後は、国道17号の二居トンネルおよび越後湯沢停車場岩原線の改良や魚野川・清津川等の河川整備等の促進に向け、要望活動

を強化してまいります。」とは、具体的に魚野川、清津川のどのような整備を要望していくのか伺う。

答弁 背後地が有効活用できるように要望していきたい。

※全ての質問、答弁は記載できないために抜粋しました。
詳しくは湯沢町のホームページの代表質問の録画をご覧ください。



代表質問に答える田村町長

平成
29
年度

2億2,537万円を増額 総額 67億4,473万円

歳入 (収入) の主なもの

国庫支出金

障がい者医療費…………… 474万円

県支出金

地籍調査事業費…………… 288万円

障がい者医療費…………… 237万円

国民健康保険料軽減分… 241万円

寄付金

湯沢こころのふるさと基金
…………… 1億1,000万円

繰入金

財政調整基金繰入金… 5,157万円

歳出 (支出) の主なもの

総務費

庁舎修繕費等…………… 610万円

湯沢こころのふるさと基金寄付金謝礼
…………… 5,500万円

民生費

障がい者自立支援事業費 948万円

介護保険特別会計繰出金 434万円

国民健康保険特別会計繰出金
…………… 493万円

衛生費

自然保護条例制定調査費 380万円

病院事業会計補助金… 2,259万円

教育費

公民館隣接用地…………… 600万円

12月19日 一般会計補正予算特別委員会を開催

一般会計補正予算

委員長 関 忠夫

賛成全員で可決

主な質疑

Q 人工透析の支出はいくらか。

A 一人当たり月額40万円程度。

Q 自然保護条例制定調査の内容は。

A ギフチョウ等、希少生物の保護を検討するため生息状況の調査。

Q 秋桜ハーフマラソンの補助金増額は。

A 同時期に新たな大会が開催され、参加者数の減少のため。

Q 学園管理費の修繕料、雪対策費は。

A 修繕料は冬期間の突発的な対応のため、雪対策費は圧雪車のオイル漏れの修理のため。

Q 就学援助費増額の内容は。

A 8月に支給していた入学準備の学用品等を、新年度の中学一年生に対して今年度内に支給する。

今後は小学一年生についても検討する。

Q 文化財保護について、池田家との契約が整わない経緯は。

A 詳細はこれから交渉するので、年度内の契約が困難となった。

12月定例会会議 主な議案

・湯沢浄化センターの工事委託に関する協定の一部変更

当初協定額1億2百万円を資材等の値下げにより6,100万円とする。

・浅貝浄化センター工事委託に関する協定の一部変更

当初協定額2億1,550万円を資材等の値下げにより1億7,601万円とする。

・旧湯沢保育園の貸し付け

平成29年12月27日から平成31年12月26日まで2年間、東京電力工事(下宿)の日生電気工業(株)に貸し付ける。

・「雪国館」の指定管理者は湯沢町観光協会を継続して承認

(期間 平成30年4月1日～5年間)

・共同浴場の指定管理者は湯沢町総合管理公社を継続して承認

(期間 平成30年～5年間)

・道の駅「みつまた」の指定管理者は三俣未来まちづくり協議会を継続して承認

(期間 平成30年4月1日～5年間)

開会中の常任委員会審査

12月20日(水)

総務文教常任委員会

委員長 岸野雅人

議案・湯沢町魚沼市教育に関する事務の一部の事務の委託の廃止

2市1町が魚沼市に委託してきた理科センターを利用する事務をやめる。

Q 理科センターそのものが無くなるのか。

A 3月31日以後は各市。南魚沼市と湯沢町では合同で規模を小さくして継続する。

賛成全員 ↓《可決すべき》

議案・湯沢町職員の育児休業等に関する条例の一部改正

非常勤職員の育児休業、条件・状況によるが1歳6ヶ月までだったのが2歳に到達する日まで認められるようにするもの。

Q 湯沢町独自の条例改正か。

A 国の法改正に伴うもの。

Q 湯沢町に対象職員はいるのか。

A いません。

賛成全員 ↓《可決すべき》

請願・30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の提出を求める請願

少人数学級を推進し、義務教育費国庫負担制度の国庫負担割合を2分の1に還元すること。

賛成全員 ↓《可決すべき》

生活福祉常任委員会

委員長 宮田眞理子

議案・字の変更

神立地区の字の構成を現状に合わせるもの。

賛成全員 ↓《可決すべき》

議案・平成29年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ679万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ12億6,648万円とするもの。

賛成全員 ↓《可決すべき》

議案・平成29年度介護保険特別会計補正予算(第3号)

職員の異動により1人が新人となり434万円を減額するもの。

賛成全員 ↓《可決すべき》

議案・平成29年度病院事業会計補正予算(第3号)

一般会計補助金を2,259万円増額するもの。28年度の病院の赤字補てんである。要因は人件費の見直しによるもの。

Q 人件費による赤字ということだが、今後の見通しは。

A 今後増加が見込まれる。

賛成全員 ↓《可決すべき》

産業建設常任委員会

委員長 田村計久

議案・湯沢町公共下水道湯沢浄化センターの再構築工事委託に関する協定の一部を変更する協定の締結

当初協定額1億200万円を6,100万円に変更するもの。

Q 約40%からの減額変更疑問が残るが。

A 下水道事業団に確認、問い合わせをしたが特に問題ない。

賛成全員 ↓《可決すべき》

議案・湯沢町特定環境保全公共下水道浅貝浄化センターの再構築工事委託に関する協定の一部変更

当初協定額2億1,550万円を1億7,601万円とするもの。

賛成全員 ↓《可決すべき》

議案・平成29年度下水道特別会計補正予算(第4号)

歳入歳出予算の総額から歳入歳出をそれぞれ6,689万円減額するもの。

賛成全員 ↓《可決すべき》

議案・平成29年度水道事業会計補正予算(第1号)

収益的支出予定額3億5,343万円に68万円を補正し、3億5,411万円とするもので、職員の人事異動による。

賛成全員 ↓《可決すべき》

本会議終了後
12月27日(水)

議員全員協議会

◆手話言語条例

請願採択への対応

国や自治体の動向と町の対応と手話の普及推進に関する県条例の説明。

主な質疑

Q ろう者にやさしい町にするため、役場でろう者が打つと言葉に変換されるシステムの導入は。

A ろう者が住みやすい環境となるよう、条例内容を考える。またそのシステムは検討したい。

Q 条例をつくることより、何をするかが大事。条例がなくてもできることもある。次の予算から考えていることがあるのか。

A 次の予算では考えていない。できることがあれば検討したい。

◆再生可能エネルギーの補助金

請願採択への対応

ペレットストーブの補助金に加えて、他の再生エネルギーの普及を図りたく補助金制度を改める要綱については、現在作成中。

主な質疑

Q 対象者の補助金制度の詳細は。

A この補助金と、他の湯沢町の補助金（起業補助金など）を同時には受けられない。

また、同一区分、つまり太陽光で一度補助を受けている者は、再度太陽光の設置による補助金は受けられない。太陽光で補助金を受けて、翌年に小型風力の設置による補助金申請は大丈夫。

Q 事業に対しては、補助対象外か。

A そのとおり。

Q さかのぼっての適用は考えているのか。

A 考えていない。

Q 設置してからでは、補助対象外なので早めの周知が必要と考えるが。

A 予算も伴うことなので、内部で検討する。

◆ふるさと納税の寄付使途に「高齢者対策」を

請願採択への対応

今後現条例の「安心して暮らすための福祉・保険・医療の充実」に寄せられた寄付金を高齢者対策の経費に充当する。

老人クラブへの補助金について、これまでの経緯および、老人クラブ連合会との協議中の案件等と高齢者の交通手段の検討内容を説明。

主な質疑

Q 公的な制度の中に遊びを持たせるのは難しいと思うが、老人クラブの発案が生かせないか。

A 補助金の10万円増額は、運営費の赤字分を補てんする増額。老人クラブが主体となって、同じ高齢者の見守りなどの事業をして補助金を出すなど考えている。老人クラブに打診している。

Q 高齢者に対する路線バスの無料化と共に、集落支援制度も必要だが。

A 路線バスの利用ができない方の支援で、介護制度を利用した移送サービスを検討。

ふるさと納税応援感謝券を利用した、郵便局の見守りサービスの話がある。民間サービス利用も検討。

◆魚沼圏域新ナンバープレート

今までの経過と今後の予定、町民アンケートの方法等を説明。

主な質疑

Q 長岡ナンバーが良いというのが多かった場合は、それを反映するのか。

A 最終的には町長が判断する。多数決で決めるということではない。

Q 選べるという話だが。

A 選べない。

Q 他の市町のアンケートはどのようなか。

A アンケートは湯沢町のみ実施。他はパブコメを実施する。

Q このアンケートのはがきの説明が、「雪国魚沼」に偏っているような気がするが。

A この説明は、なんでアンケートを実施するかの説明で、他の市町と同様であり、湯沢が独自で作ったものではない。

Q アンケート結果は公表するのか。

A 公表する。

◆湯沢高原の決算の詳細

配布した資料は、湯沢高原の夏期営業と冬期営業の収支と湯沢高原からの資料。夏期は赤字、それを冬期で補っている状況。収支の概算、人件費、部門別の月別売上等について説明。

主な質疑

Q 布場ゲレンデの方向性はどのようなか。

A 来シーズンの営業が終わったら閉鎖する方向。

Q ロープウェイ運営委員会で、町長が布場ゲレンデは、あと3年あるから皆で考えていけば良いと言ったが、委員会も開かれず執行部で考えていたのか。

A 町長が皆で考えたと言ったのは、スキー場はやめるという方向は自分が判断したが、他に布場を活用できることがあれば、皆さんで考えていくということだと認識している。また、委員会は何をやめるとか判断するところではない。

Q 運営委員会は開かれていないのか。

A 開催するようにする。

議 員 表 決 結 果 報 告

平成29年12月定例議会

- ・採決結果の記載方法（可＝賛成多数で可決・採択等の場合：否＝賛成少数で否決・不採択等の場合）
- ・表決結果の記載方法（議員個々の賛否：賛成＝○・反対＝×・欠席＝欠・除斥＝除）：議長は採決に参加できません

提出者	議案名	採決結果	並木利彦	高橋政喜	高橋五輪夫	岸野雅人	角谷勉	白井孝雄	関忠夫	宮田眞理子	田村計久	佐藤守正	師田保
12月定例会	平成29年度一般会計補正予算（第5号）の専決処分の報告	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成29年度下水道特別会計補正予算（第3号）の専決処分の報告	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成29年度病院事業会計補正予算（第2号）の専決処分の報告	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町、魚沼市教育に関する事務の一部の事務の委託の廃止	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町公共下水道湯沢浄化センターの再構築工事委託に関する協定の一部変更	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町特定環境保全公共下水道浅貝浄化センターの再構築工事委託に関する協定の一部変更	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	字の変更	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	普通財産貸付契約の締結	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町歴史民俗資料館「雪国館」の指定管理者の指定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	湯沢町共同浴場の指定管理者の指定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	道の駅「みつまた」の指定管理者の指定	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成29年度一般会計補正予算（第6号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成29年度国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成29年度介護保険特別会計補正予算（第3号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成29年度下水道特別会計補正予算（第4号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成29年度水道事業会計補正予算（第1号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成29年度病院事業会計補正予算（第3号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願等	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書の採択を求める請願	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議会活動日誌



3日	健康フェスティバル
2日	町村長と町村議長の意見交換会 2017湯沢町ふれあい福祉会（新潟市）
1日	町村監査委員全国研修会（東京） 産業建設常任委員会勉強会（大源太砂防堰堤補強工事排水トンネル視察） 新潟県町村自治に関する研修会（新潟市）
11月1～2日	町村監査委員全国研修会（東京） 産業建設常任委員会勉強会（大源太砂防堰堤補強工事排水トンネル視察） 新潟県町村自治に関する研修会（新潟市）
31日	総務文教常任委員会視察（長野県 小川村・飯綱町）
28日	組合議会 第5回湯沢町教育フェスティバル
26日	魚沼地域特別養護老人ホーム
25日	生活福祉常任委員会 湯沢町戦没者慰霊祭（宝珠庵）
18日	新潟県町村議会議員後期研修会（新潟市） 新湯沢町民ゴルフ大会
17日	社会福祉法人南魚沼福祉会設立30周年記念式典
16日	湯沢町町民ゴルフ大会
15日	こらっしやい湯沢収穫祭
14日	旧脇本陣「池田家」コンサート
13日	湯沢町高齢者福祉大会
11日	湯沢町高年齢者福祉大会
5日	湯沢認定こども園運動会
4日	湯沢協議会（南魚沼市） 職業訓練法人 南魚沼職業能力開発運営協議会理事会および代議員会（南魚沼市）
3日	国道353号県境開設促進協議会
10月1日	町民ゲートボール大会
8日	湯沢町地下水対策委員会
9日	埼玉県松伏町議会会派視察対応
13日	児玉郡町村議会議長会視察対応
14日	総務文教常任委員会
16日	産業建設常任委員会
20日	総務文教常任委員会勉強会
21日	湯沢学園生徒海外派遣事業報告 地方自治法施行70周年記念式典（東京）
22日	新湯沢後期高齢者医療広域連合 議会議員事業説明会（新潟市）
24日	湯沢地区町内会長連絡会懇談会
25日	上越魚沼地域振興快速道路国道253号八箇峠道路（八箇IC）野田IC間）開通式典
27日	総務文教常任委員会（ロープウェイ点検視察） 湯沢町福祉関係者合同研修会・町民研修会
11月6日	湯沢町福祉関係者合同研修会・町民研修会
11日	産業建設常任委員会勉強会（農観連携・農泊推進）
13日	「ありがと湯沢・感謝の集い」（東京）
15日	湯沢高原スキー場安全祈願祭
18日	議会運営委員会
19日	議会勉強会
21日	第6回定例会（会期9日間）
26日	南魚沼土地改良公社 監査
27日	南魚沼土地改良公社 理事会 魚沼地域特別養護老人ホーム組合 監査
27日	第11回議員全員協議会

閉会中の常任委員会調査

※主なもの

総務文教常任委員会

11月14日(火)

総務部

●湯沢高原スキー場の冬期戦略

夏場は「雲の上のカフェ」の投資も天候により苦戦。来場者は昨年並み、売上げは微増。冬の消費単価は高い。テーマは「湯沢スノーエクスペリエンス」地域が持てる材料を活かした体験を提案する。ワイヤーの整備が必要との報告あり。

●防災緊急連絡(整備方針)

同報系システム整備(400万円程度)は検討中。Jアラートとの連携は手動。町単独で自動接続を検討する。□頭放送にはスピーカーが良くない。

●行政財産(庁舎)管理

トイレの洋式化進めたい。雪庇切りを増設。

●総合戦略事業の進捗状況

●予算編成方針とスケジュール

その他 …… 三俣地区光回線サービス開始。

総務文教 勉強会

11月20日(月)

子育て教育部

●『0歳児1歳児の保育』をめぐり、現場との意見交換

生活福祉常任委員会

10月25日(水)

健康福祉部・病院管理・事務

●『湯沢病院』との意見交換

委員会視察

9月29日
産業建設

浅貝砂防ダム工事



奥清津トンネル



奥清津発電所



浅貝川溪流保全工事

この他、町道赤湯線も視察。

10月31日
総務文教



サンクゼール ワイナリー レストラン (長野県 飯綱町)
テーマ: 「田舎の豊かな生活」の提供



小川の庄 おやき村 (長野県 小川村)
テーマ: 地域の伝統食と高齢者雇用

介護療養病床の転換（廃止）は6年延長。今後は「介護療養型」か「介護医療院」を選択することになる。また収益は、平成27年の医療再編前の数字に戻りつつある。また収益は、病院内に苦情受付を含めたサービスセンターを設置している。議員より、リハビリは評判が良いとの発言。

産業建設常任委員会

11月16日(木)

産業観光部

●冬期観光戦略と民泊問題

〈観光協会との意見交換会〉
高まるインバウンドの重要性、個人客は鈍くMICEに伸び。協会は冬花火・ラッキーくじなどの取組み。冬のお客様の動きは鈍い。
民泊は、県条例へは日数制限しかできない。意見聴取し集約する。取り締まりは県だのみ。

●観光客入込み状況 ……週末の悪天候ひびく。
●新ゴミ処理施設建設の進捗 ……進展なし。

●稲作状況と減反廃止後の対策
魚沼地区作況指数96。作付けはJA塩沢管内で予定数量により調整・誘導。

●鳥獣被害対策
秋は熊の目撃は少ない。猿は7頭に発信器、群れを追跡して毎日1回、情報をメール配信。

地域整備部

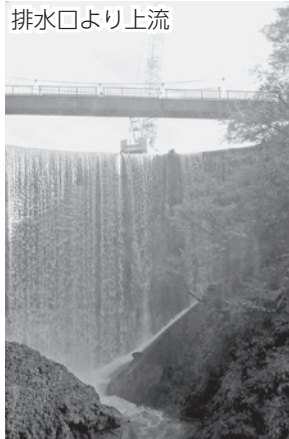
●事業進捗状況

- ①湯沢駅西口・温泉通り整備 ……平成38年まで。
- ②予定された工事・修繕の進捗 ……ほぼ順調。
- ③水道・下水道事業の進捗
下水三俣処理区、15軒（100軒中）接続。

排水トンネル



排水口より上流



排水口より下流



大源太川砂防堰堤工事
仮排水トンネル

排水口

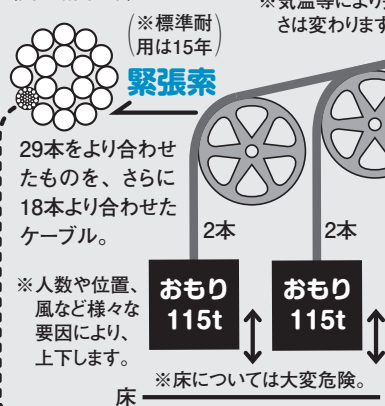


11月1日
産業建設

※開業し26年経過
(図は略図です)

①若干の伸びが見られた。(15~20cm)

※気温等により長さは変わります。



②この29本の中の数本に劣化が見られたとのこと。

①②とも、緊急性は極高くないものの、30年度当初予算に計上し、緊張索を交換することを検討中。

11月27日
総務文教

ロープウェイ
客車・ハンガーの点検

支索・緊張索の現状
(おもりの見学)



Q 人事考課で給与昇給に差をつけるのは止めるべきだ。

佐藤 守 正



A 法律で実施するよう定められている。



Q 高齢者の要望

質問 バス停が湯沢学園敷地に移動したので、A

コープが遠くなった。元中学校前停留所にも停めて貰いたい。また役場前の停留所が角谷医院の前では遠すぎる。

答弁 子どもたちの安全のためにバス停を湯沢学園の中に移動した。

湯沢町役場前停留所は、交差点から20メートル以上離れていることが必要になるので致し方がない。

質問 つながり隊は高齢者世帯を支える仕組みとして重要だ。社協の事業だが、

町としても支援をする必要がある。

答弁 広報などで周知をした

質問 民生委員不在の地域が広がっているが対策は

答弁 現在7名が欠員。町職員や社協職員が代行しているが、一日も早く充足したい。

質問 周辺部の高齢者が車を持たずに暮らすことは困難だ。デマンド乗り合いバスの事業を検討してほしい。

答弁 燕市等の先進地の事例を検討してみたい。

ちょっとした困りごとを 地域で支え合いで解決

湯沢つながり隊

.....
湯沢つながり隊とは？
 住み慣れた地域で誰もが安心して暮らせるように、「ちょっと手伝ってもらいたい」という人と「このくらいなら手伝えますよ」という人をつなげ、生活を支え、支え合う住民参加の助け合いサービスです。

.....
こんなことで困っていませんか？
 ～ つながり隊がお手伝いできる内容 ～

- 家事支援
掃除・買い物・洗濯・洗濯・ゴミ出し など
- 外出支援
外出の準備 (公共交通機関利用) 補助の手続き (車)
- その他
災害支援・災害の復旧、送迎手・代車・代膳・緊急の修繕・緊急な修繕 など

.....
お手伝いの時間と料金
 ● 1時間 400円
 ● 3時間以上の場合は15分以内100円

.....
申し込み・問合せ
 湯沢つながり隊事務局 (湯沢町社会福祉協議会)
 電話 025-784-4111 FAX 025-785-6661

つながり隊のパンフレット

Q 役場職員の人事考課

質問 人事考課 (勤務評定) は人材育成に役立つよりも、評価する方にも、される方にも、重荷にしかかっていない。

答弁 職員が自分の仕事ぶりを振り返ることができ、能力開発に繋がっている。

質問 評価結果を期末手当で昇給に差を付けることに使っているそうだが、事実か。

答弁 期末勤勉手当に差をつけたのはずっと以前から。昇給に反映させたのは平成20年1月の給与改定時からである。

質問 利潤を追求する民間の職場では成績で給与に差がでることはあり得る。しかし役場の仕事・公務労働の職場に評価で給与に差をつけることは、結果として職員同士を競わせたり反目させたりすることになり、マイナスの影響の方が大きい。職員間の

相互不信、教えあわない、成果の独り占め、住民サービスの目的を忘れて自己の利益を優先する等の心理が働くだろうし、果てはうつなどの精神疾患をひきおこすなどのマイナス効果しかないのではないか。

答弁 地方公務員法が変わり、総務省からの通達で、人事評価の結果を反映した昇給および勤勉手当での運用を指示されている。したがって、町では人事評価の結果を昇給および勤勉手当に反映していく考えである。



Q ドラゴンドラへの接続道路の拡幅整備の早期完了を。

師 田 保



A 今後の状況を見守り、必要があれば検討する。

質問

苗場スキー場からドラゴンドラ乗り場までの

アクセス道路町道赤湯線は、関係者のご協力により拡幅整備が進められていますが、中間の100m程度が未整備のため幅員が狭く、大型バスと車両がすれ違いできないような危険個所となっていて、車で来る観光客に不便をかけています。

湯沢を訪れる観光客、特に高齢者や家族連れにも優しい、安心安全の環境を提供するためにも、来年度シーズン前には町道赤湯線的全線拡幅、整備を完了してほしい。

答弁

全線にわたつての改良は、地形的に多額の費用が必要であり費用対効果を考えると難しい。現在シャトルバスの運行には支障がないので今後の状況を見守り、検討したい。



脇本陣・池田家

Q

新潟県指定文化財「脇本陣、池田家」の活用方向について。

A 現在、譲渡契約書等の案について所有者と協議を進めている。

質問

脇本陣、池田家を、三俣地区の観光振興と歴史文化を活かした地域づくりに活用してほしいという申し出を受けたということですが、いまだに合意形成に

至らないようです。申し出から2回目の降雪期を目前にして、所有者の不安はつるばかりであり、将来の生活設計も立てられないのが現状かと思われます。所有者の思いを

Q

湯沢学園児童生徒の文化、スポーツ活動の成果について。

A 湯沢学園の文化、スポーツにおける指導の充実を図りたい。

質問

夏季の中学校のスポーツ活動の成果が新聞で報道されましたが、湯沢学園の生徒はほとんど登場していません。また文化活動においても先般の新潟県ジュニア展での入賞者は、保育園児、小学生、中学生を通じて1人の

汲んで地域のために活用できる方策を早急に示し、合意形成を急ぐべきと考えますが。

答弁 寄贈を受け、貴重な文化財を保存活用していく方向で、所有者と協議を重ねている。現在、譲渡契約等の案を作成しており、内容について協議を進めている。

湯沢学園の文化、スポーツ活動に対する教育委員会の指導方針を尋ねたい。

みであり、さびしい限りであります。

湯沢学園の文化、スポーツ活動に対する教育委員会の指導方針を尋ねたい。

答弁 地域の外部指導者の手を借りながら、活動の充実に努める。

Q フットサルコート照明は、 この売上でも設置するのか。

並 木 利 彦



A 設置する。



Q

障がい者の親がいなくなっても
安心して暮らせる町づくり

質問

ろう者が手話で生き、生活する権利を町長はどのように考えるか。

町長の『所信表明』のなか

の「年齢や性別、障がいの有無や国籍などにかかわらず、このまちに暮らす誰もが、心豊かに幸せを実感できるまちづくりを進める」とのこと。

答弁

手話で生き、生活する権利は尊重されなければならぬ。

質問

町民課でろう者に対し言葉を文字に変換する機械を設置をできないか。

答弁

どういったことが町にできるか研究していく。

質問

ホームは、障がい者の親にとって最も心配なことである。町長はどうお考えか。

答弁

戸建ての賃貸住宅を考えている。障がい者の方が一緒に住み仕事があるこ

この子の将来が心配。



とが大事だと認識している。湯沢町がどのようなことができるのか検討していく。

質問

町内の企業において、障がい者の雇用状況は、町として、障がい者の雇用をどのように考えているのか。

答弁

町内では、建設業、宿泊業で雇用されていると聞いている。就労は大事だと考えている。

Q

町の施設の建設について

質問

町として、建設の必要か否かを判定する仕組み作りはできないか伺います。

答弁

今の所は考えていない。

質問

フットサルコート建設費は、9千万円。夏の利用料は、5万円。費用対効果はどう思われるか。「誰のために」「何のために」つくられたのか。

湯沢町体育協会に、サッカー連盟、フットサル連盟はないが湯沢町体育協会とは相談したのか。

テニスコートは使用頻度がなくフットサルコートをつくりたいとのことだったが、テニスコートの方が使用頻度、費用対効果があると思うが。

こんな売上でもまだナイター照明に2千5百万円もかけるのか。フットサル愛好家は何人いるのか。協会のアンケートに要望があれば、費用対効果ないものでもつくるの

か。

答弁

愛好家は何人いるかわからない。体育協会には相談していない。

町観から要望があった。

テニスコートが老朽化した。町観と相談した。

2千5百万の照明は付ける。

※費用対効果は答無し。

※町観の要望アンケートの件は答無し。



フットサルコート



Q 政策の評価を諮問委員会を設置し評価をすると公約にあるが。

&

高橋 五輪夫

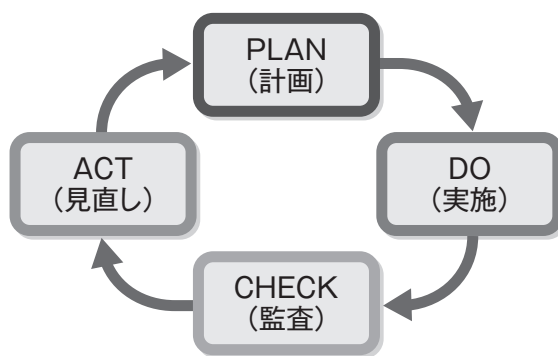


A

検討したい。

質問 町長は、事あるごとに計画はPDCAサイクル（P、プラン（計画）→D、ドゥ（実施）→C、チェック（監査）→A、アクト（見直し））で事業を推進するといっています。

であれば1期目で掲げた公約に対し、何ができて何ができなかったのかを明らかにし（C）見直し（A）をすることであるが、未だに示されている



Q

過去4年の総括と
2期目の公約は

ないのはなぜでしょうか。

私は町長が何をやって何ができなかったのかを聞いているのではなく、ご自身で公約したことを普段から政策や事業はPDCAサイクルで行うといっているのと同じです。

このままでは1期目の公約に対しては第三者より評価がされず、またそれを踏まえ改善した2期目の公約を示さずに進んでしまいがいかと考えてのことかお聞きします。

答弁 諮問委員会は検討したい。また公約の改訂版は出す予定はない。



「美しい湯沢の風景」

町長の目指す500万人観光も良いが、数よりも質の高い観光地を目指すべきと考える

Q

湯沢町の基幹産業についての
見識を問う

質問 湯沢町の基幹産業を今更聞き直すのもおかしいですが、改めて湯沢町の政策、総合計画の中でどのような位置付けにあるのか、また町長にとってはどのような位置付けて他の政策との整合性を計られるのかお聞きします。

答弁 観光業と認識している。総合計画でも自身の公

約でも、町の経済の活性化が全て基本だと考える。

質問 町長は500万人観光を目指すというが、人数を増やすことよりも質の高い観光地にすべきだと認識を新たにしたいがいかか。

答弁 いい提案だと思う。質向上のための何ができるか考えていきたい。

質問 人口減少、少子高齢化、労働人口不足の中で、必要経費が増え、しかも歳入は縮小。

このような状態で観光産業を伸ばしていくには何が必要であると考えますか。

答弁 今後も観光協会への適切な支援、PR活動と合わせ、ブランディング強化をしていく。

Q 湯沢駅東口 エレベーター設置は。 &

高橋 政 喜



A エレベーター設置は 私も実現したい。



質問

平成27年6月議会にて、東口エレベーター設置を要望した。しかし越後湯沢駅はJRの所有物で町が整備することはできない。他の駅の整備や予算措置が難しいとのことだった。

それが11月22日の決起大会でエレベーター設置を強く要請するといわれたが、これはどういうことなのか。

答弁

関係機関と話を進め、データー整理をしている。



湯沢駅東口

Q

上中子周辺今後の整備は

質問

上中子地内の伐採も終わり、周辺の景観も変わり安心して散歩できる。今後の周辺整備はどうするのか。

答弁

松川中子川原線の整備や歩道・遊歩道の整備をすすめ、平成30年度は調査・測量を予定している。トイレはいずれ整備する。

Q

二居本陣跡富沢家について

質問

富沢家は町の指定文化財として平成13年9月に指定を受けたが町は今後この文化財をどう活用するのか。

答弁

県の指定文化財とリンクし活用する。所有者の話を尊重しながらすすめていく。雪消えしだい内部を見てから検討する。

Q

川端康成と雪国の世界

質問

雪国館に展示されている14点は、購入時、議会でも議論された。その購入費は約6,100万円。しかし購入してから現在に至るまで評価されていないが問う。

答弁

購入される時は美術商で価格評価を行っている。現在美術年鑑で見たとこでは金額の変動はあまりないと考えている。

評価鑑定するか、しないか検討する。

Q

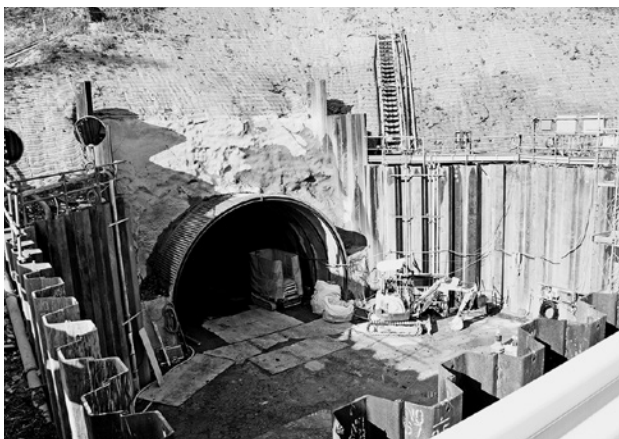
大源太砂防工事終了後の活用は

質問

排水トンネルが完成、現場を見た感想はどうか。また、町として作業後の活用を願うべきではないか。

答弁

希望大橋や展望台から見る景色とは違い、トンネル内から見る景色は圧巻であった、今後どのような活用ができるか検討したい。



仮排水トンネル 取り入口



Q 家庭と町の未来へ イクメン奨励制度、を。

岸 野 雅 人

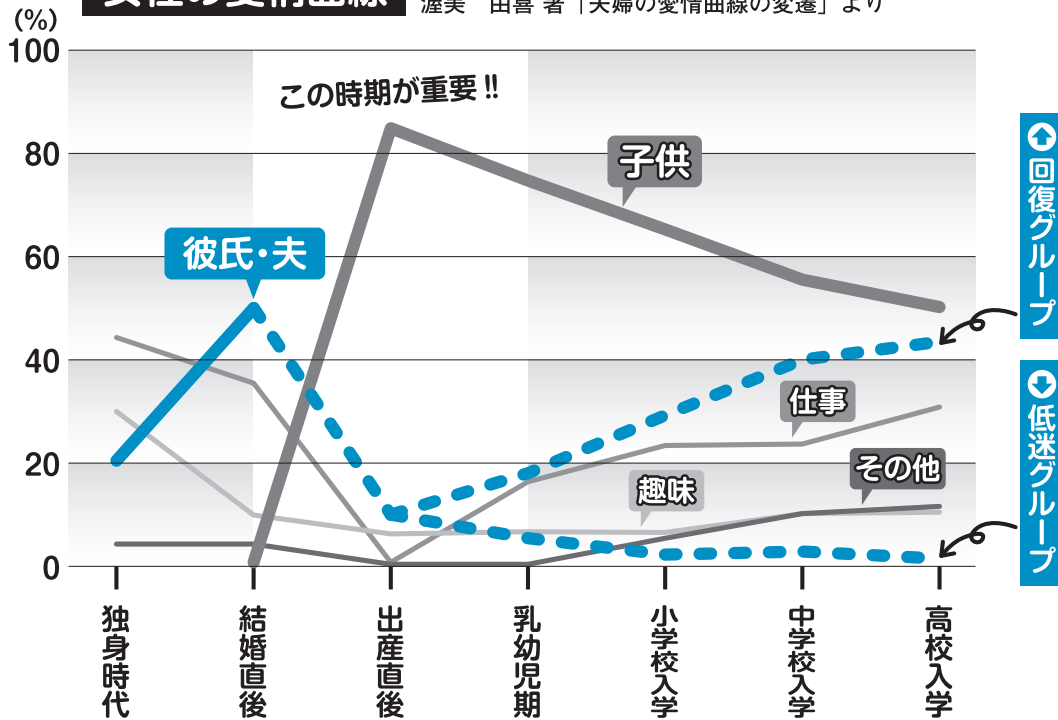


A

担当部署に研究検討を指示する。

女性の愛情曲線

東レ経営研究所ダイバーシティ&ワークライフバランス研究部長
渥美 由喜 著「夫婦の愛情曲線の変遷」より



資料参照『女性の愛情曲線』

▼男性への愛情は出産直後に落ち込み、以降回復と低迷の2グループに分れ、低迷組の離婚率は回復組の70倍

とか。

▼結婚後から乳幼児期、特に男性への愛情の分かれ道となる出産直後のあり方が肝心要。

そこで、出産後の退院時から夫婦協同での子育てを支援する『イクメン奨励制度』を提案する。以下、要点試案。

①(出産後の)退院日を含めその2週間以内に最大5日の「イクメン休」。夫が仕事を休み、共同で育児・家事一般に当たる。

5日間なら休日と合わせ、一日おきに仕事を休んで共同での育児・家事一般が可能。会社との調整の必要から、2週以内に最大5日とした。

②事前研修の受講と「イクメン休」日数分の報告、事業所からイクメン休証明を提出。

ありがちな夫婦間の意識差や、暴言が子どもの脳を傷つけ、後の問題行動を誘発する例が多いことなど、予備知識も必要。子育て教育部や保健師、部外の有識者でテキストを作るのが望ましい。

③1日分1万5千円のイクメン奨励金を給付。

金額は男性が晩婚の場合の2人目の出産時などを考慮。

他に検討課題も多く、チームでの研究が必要と考え、着想段階での提案とした。

質問 「イクメン奨励制度」は、その後の家庭と保育に必ずや好影響を及ぼすと同時に、より良い教育環境の礎となり、また次の出産につながるかも知れない。

お産後に最大7万5千円、年間40組の満額利用で総支出は300万円。

小さな町だからこそできる本制度の創設に向け、関連部署の検討を願う。いかがか。

答弁 担当部署に推進の観点から研究検討するよう指示したい。

質問 高校生遠隔地通学燃料費助成の経験から、あなたの「検討する」は信用できない。期限の言及が欲しいどうか。

答弁 良い提案だ。調べた上で、3月議会までにはお答えする。

Q 全国中学スキー大会の準備状況は。

白井孝雄



A 準備は順調に進んでいる。



様々な取組をしていきたい。ユースポ等を使いスポーツをする人を増やしていきたい。

答弁 健康寿命をのばしていきたい。

質問 全国でスポーツに費やす時間が1位の滋賀県が全国平均寿命ランキングで1位となりました。湯沢町もスポーツ健康宣言等をして町民の健康増進につなげては。

スキースキーの町湯沢にとって、

答弁 12月28日には公民館でパブリックビューイングを開催して応援していきたい。

質問 現在長谷川絵美選手がピョンチャンオリンピック出場を目指して頑張っています。彼女の長年の夢が叶うよう町も応援しては。

長谷川選手は宝である。ぜひ出場を決めていただきたい。
※全日本選手権と、その後のワールドカップ参戦の結果、オリンピック出場はかなわなかった。

Q

スポーツを使って町おこしをしては

A

ユースポ等を使って町民の健康増進をはかりたい

町民の方には広報をしっかりとやっていきたい。

答弁 来年の2月4日～7日に開催される。

質問 いよいよ来年全国中学スキー大会のアルペン競技が苗場スキー場で開催されるが、町民にあまり知られていないのではないかと。

学園全体で盛り上げていきたい。今後もしっかり強化していく。

質問 地元開催の全中で湯沢学園の選手の活躍が期待されるが。

答弁 7年生の女子に有望選手がいる。

質問 高齢者世帯等住宅除雪援助事業の支給条件の緩和は。

A

安心して住める町づくりを目指したい

Q

高齢者に対する政策は

答弁 いろいろな条件はあるが現在60世帯に支給している。対象年齢を少しずつ緩和しているが、申請状況を見て考えていきたい。



Q 高齢者見守り事業の拡充を。

宮 田 眞理子



& A

地域と連携して見守る。

質問

配食サービスに携わる
食生活改善推進委員会、

配食ボランティアの方々の奉仕の心に深く敬意を払うものである。

9月議会で配食サービス事業について質したところ、答弁は現状の通り進めるということであった。近隣自治体では収入が多くあっても、達者であっても見守りという観点から配食サービスを行っている。町の高齢化率も36%となり、現状のままでは町民の期待に応えることは難しいと考える。

現行の社会福祉協議会委託の配食サービスに加え、民間の業者にも委託を考えられないか。また、達者な方を切り捨てるのではなく、段階区分を設けて料金設定を行いサービス提供してはどうか。

要綱の第3条は分かりづらく、条件が厳しいものである。全ての条件を満たすには、相手が弱っていないなくてはならない。それ程の方にも多くて週2回の配食というのも疑問で

ある。

高齢者福祉については前町長からの手厚い福祉を継承したとしている。今後4年間高齢化が進む中、もっと前進！さらに加速！してはどうか。どのように見守りを拡充していく予定なのか。

答弁

サービスについては、自立して生活していく上で支援が必要な方に提供をしている。サービス提供は、多くの元気な高齢者の方々のボランティアから成り立っている。配食利用者は51名で、サービス提供は充足していると考えている。今後、対象者が増加するなど対応しきれない場合、民間委託も考えていかななくてはならない。

経済的に恵まれている方には、基本的に高齢者専門の民間宅配を利用して頂いている。経済的にそうしたサービスを受けられない方に対して食と見守りを行うものであり、料金設定を変える予定はない。福祉については代々の町長から引き継いでいる。今後は

郵便局の見守りや民生委員、町内会長等地域と連携していかなくてはならない。
今日を築いて頂いた方に対して、町としてどんなことができるか、しっかりと進めていきたい。



配食サービスの様子

Q 良質な民泊を活性化の手段とする姿勢で議論を。

&

角 谷 勉



A 認識している。



Q

民泊との相乗効果による
良質な観光立町を

A

県条例をふまえて考える

質問

住宅宿泊事業法（民泊新法）は観光立国の観点と空き家の有効活用等、地域活性化の観点から成立した法案である。

町長は県に「町内宿泊施設の稼働率が低く、民泊新法により既存施設が更なる稼働率の低下を招き、湯沢町の経済基盤を根底から揺るがし、地方創生に逆行するので全域を民泊新法の施行制限区域とする条例の制定」を要望された。町内の宿泊施設の課題は湯沢町の課題そのものと考え、高齢化、跡継ぎがない。お客様は週末だけでいい、団体だけでいい、食事の提供が無理等の課題も稼働率を低くしている。

質の高いおもてなしを目指している宿も数多くある。

宿泊施設の現状に合わせ多様な受け入れを可能とするのが民泊新法である。

大切なことは稼働率を上げるための議論ではないか。

良質な民泊、良質な宿、良質な観光立町を目指すという視点での議論が必要ではないか。

低稼働率が規制条件にならず完全排除が無理なことは認識しているが、現状をふまえ議会と相談して要望した。

違法民泊を含めて継続して議論が必要である。

町民の声、各種団体の声を集約するため民泊検討委員会の設置は。

スキー場、飲食店、お土産店等が加盟の町観光協会から規制の要望が出て

答弁

光協会から規制の要望が出て

いる。

声は聞いているので設置は考えない。

質問 住宅や空き家を利用した民泊は若者の起業、就労に貢献し交流人口増による子育て支援や高齢者支援にも通じるとは考えないか。

答弁 民泊による活性化は認識するが、駐車場や環境の問題もあるので県の条例をふまえて考える。

質問 交流人口の増加による飲食店、お土産店等各業界への経済波及効果は大と考えるが。

答弁 消費が活発になることは認識している。

質問 民泊に課題があることは事実だが、県の条例、違法民泊を含めて課

問 民泊に課題があることは事実だが、県の条例、違法民泊を含めて課

平成 29 年 9 月 25 日

新潟県知事 米 山 隆 一 様

湯 沢 町 長 田 村 正 幸

湯沢町議会議員 南 雲 正

住宅宿泊事業法施行における新潟県条例制定に対する要望書

湯沢町は町内にホテル、旅館、民宿、ロッジ、ペンション等 254 の宿泊施設（湯沢町観光協会加盟）を有し、19,839 人の観光客を受け入れる体制が整備されています。しかしながらその多くは小規模民宿であり、スキー観光の低迷等により経営実態は極めて脆弱な状況にあります。

観光庁の 2016 年宿泊旅行統計調査によれば、全国の客室稼働率は 60.0%、その中で新潟県の稼働率は 40.9%と全国 47 都道府県の中で下から 2 番目となっており、湯沢町の稼働率は 21.4%と更に低く、県の稼働率を大きく引き下げています。

題をいかに克服し良質な民泊を提供するために事業者・仲介業者・利用者に町として何を求めているかではないか。

答弁 民泊新法により湯沢町の活性化ができないかということは受け止めている。事業者や仲介業者に必要なのは求め利用者ととの共存共栄を図っていく。



Q 歴史文化を活かした観光地づくりの展開は。

&

南 雲 正



A

童画美術館は任期中に建設する。

質問

湯沢町総合戦略、湯沢町総合計画に示された、

歴史文化を活かした観光地づくりを目指した動きが具体化されることなく、田村町政2期目がスタートする。

観光の町として持続的発展に向けた町づくりという観点から歴史、文化を活かした町

づくりの中心に据えることが可能な、22回目を迎える越後湯沢全国童画展を基盤として、童画文化を全国から世界に発信し湯沢の独自の文化として評価を受けている念願の童画美術館の建設、所有者から寄贈の申し出を受け、受け入れ



全国童画展入賞作品集



の方向が示されている「県指定文化財、脇本陣池田家」を三国街道の歴史伝承館としての整備活用等、題材はそろっている。

今まで、検討中ということであったが、いつになったら実現できるのか、早急な決断を求めている。

答弁

歴史文化を活かしたまちづくりを進めることには変わりはない。童画美術館は任期中に建設する。池田家は、前提となる譲渡契約等について所有者と協議中である。

Q

運転免許返納者等高齢者の交通手段の確保や生活支援にふるさと納税の活用を

A

福祉保健医療の充実に寄せられた寄付金を高齢者対策の経費に充てる考えである。

質問

高齢者の運転免許証の自主返納を進めている

が、その支援内容は一過性の感が強く、町の中心部から離れた集落に暮らす高齢者にとって、日常生活の不便さを考えると、なかなか実現は困難であり、高齢者が安心して暮らせる交通手段の整備や生

活支援などが必要である。

高齢者の意をくみ、早急に「湯沢こころのふるさと基金条例」の寄付金の使途に高齢者対策を加え、それを財源として高齢者のための交通手段の確保や生活支援に活用して、高齢者が元気に生活し、家族や社会を支える環境整備を図るべきと考えるが。

答弁

現条例の「安心して暮らすための福祉保健医療の充実」に寄せられた寄付金を老人クラブ等への支援や高齢者対策の経費に充てる考えであり、担当部署に高齢者対策の充実を指示している。



この人に 会いました

昨年議会だよりの表紙にもなった
小林守雄さん(86歳 栄町)

雪国館(湯沢歴史民族資料館)にて
昔ながらのわら細工の講習会の講師と
してご活躍。

昔懐かしい、ミチクサミノを作り着
用していただきました。

ご意見をお寄せ ください

湯沢町議会は、
みなさまからのご意見・
ご提案をお待ちして
おります。

お寄せいただいたご意見は、今後の議会
だよりづくりの参考にさせていただきます。

宛先 湯沢町議会事務局

郵送 〒949-6192 湯沢町大字神立300番地

FAX 025-784-3510

Eメール gikai@town.yuzawa.lg.jp

f <http://www.facebook.com/yuzawamachi.gikai/>

- ご意見は300字程度にまとめてお送りください。
- ご住所、氏名(実名)、年齢、性別、電話番号を明記してください。
- お寄せいただいたご意見・個人情報は議会内で厳重に管理し、目的以外での使用は致しません。
- ご意見の内容にかかわらず個々の回答は控えさせていただきます。

本議会の 内容を確認 できます

本会議の内容を
インターネットとラジオで
確認できます。



インターネットにより本会議の
動画配信を行っています。

- ① 湯沢町ホームページから
- ② 町議会情報を選択
- ③ 議会インターネット映像配信を選択
- ④ 目次から、日付を選択してください。

※スマホから動画を見られない方は、Chrome
をご使用ください。



一般質問は、FMゆきぐにによ
る音声配信をしています。

f フェイスブックにより議会の活動報告を行って
います。インターネット回線を使い、会員登録する
ことで議会での動きが何時でも確認できます。

編集後記

新年明けましておめでとう
ございます。

昨年は田村町長の二期目が
スタートいたしました。

国政の議院内閣制度とは異
なり、地方議会制度は町長、議
員も町民の直接の選挙で選ば
れる二元代表制という制度で
す。町長・役場行政が執行機
関であり、議会は行政運営を
チェックし議決する機関とい
う役割です。近すぎず遠すぎ
ず、緊張感を持った厳しさが
議会には求められます。

そのためにも開かれた議会
活動を、議会だより、FMゆ
きぐによる一般質問の放送、
議会動画配信、SNS等を活
用し、わかりやすくお伝えで
きる様に努力してまいります。
本年もどうぞよろしくお願
いいたします。

編集委員長 高橋 五輪夫

議会広報常任委員会

委員長 高橋 五輪夫

副委員長 並木 利彦

委員 白井 孝雄

角谷 勉

岸野 雅人

高橋 政喜